

郊外と中心市街地を結ぶ公共交通



200円バス

平日午前10時から午後4時にJR多治見駅を発着する路線バスの市内運賃を1乗車200円(小児・障がいのある方は100円)にする制度です。平成27(2015)年10月1日から導入しています。



地域あいのりタクシー

地域が主体となり、地域の移動手段を確保する取り組みを支援するため、平成29(2017)年4月から多治見市地域あいのりタクシー運行支援補助金を新設し、多くの自治会で利用されています。

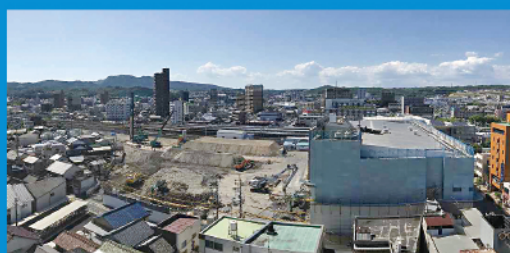
中心市街地内の公共交通

ききょうバス
(コミュニティバス)

中心市街地での移動を担う公共交通サービスです。高齢者や障がい者に配慮し、乗降口の段差をなくした超低床のノンステップバスを導入しています。ルートごとに車体を色分けし、ポディーにはうがなっばをデザインしています。

ネットワーク型コンパクトシティを推進

中心地域と郊外地域に拠点を設け、各拠点に住居や都市機能を集約させるとともに、各地域を公共交通ネットワークで結びます。



多治見駅南地区

JR多治見駅の南側に位置する「多治見駅南地区」は市の「多治見駅周辺都市整備構想」の中で「駅前顔づくりエリア」として位置付けられています。令和4(2022)年秋の完成を目指した駅南地区市街地再開発事業を進めています。

郊外の団地などへの人口流入に合わせて郊外地域の都市基盤を整備してきたことにより、人口10万人を超える都市に発展しました。近年は、JR多治見駅周辺部に商業施設、文化・娯楽施設、行政機能を集約し、中心市街地を活性化させてきました。また、郊外地域と中心市街地を結ぶ基幹バスに加え、地域あいのりタクシーを導入するなど交通手段の充実を図っています。その結果、生活利便性が高い中心市街地と住環境の良い郊外地域が調和した、住みやすいまちになっています。

Comfortable
中心市街地も郊外地域も
住みやすいまち



多治見駅北地区

